小枝でアート

場所	学校・団体： クラフト室 家族：サービスセンター前		
時間	1 時間～1 時間 30 分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室　座席 48

プログラムの概要・ねらい

拾った自然物を使い、板に使うことによって自然への興味をもつ。一人一人のオリジナリティを大切にすることで、創造性を育むことができる。

完成後、展覧会を開いてみるのもよい。

準備物

【利 用 者】ポスカなどのペン（板に書けるペン）、筆記用具、新聞紙、ぞうきん、救急用品

【自然の家】材料（木の板、ヒモ）、キリ、ペンチ、マジカルサンダー、焼印

①準備

学校・団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
テーブルに新聞紙を敷き、汚れないように準備をする。

家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ

【時間】

0：00　説明、材料の配布

0：10　小枝の採集
・外に出て、気に入った小枝を探してくる。
※別時間に採集を行っておくと、時間短縮ができる。

0：20　板をマジカルサンダーで磨く。（写真①）
マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
荒削り用→仕上げ用
・表面、裏面（文字を書きやすいように）
・角、縁　（けがのないように）

0：30　希望者は板に少年自然の家の焼印を押す（写真②）
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。

0：40　枝をペンチで切るなど加工し、板に並べたりしておよその絵をつくる。
枝にボンドをつけ、板に貼り付けていく。（写真③）

1：10　完成（写真④）
1：20　片付け
1：30　終了

※プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙　注意が必要な動植物参照）

①

②

③

④

③後片付け

学校・団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
※机と床の水拭きを必ず行う。
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

家族：机の上をきれいにし、借りた備品をサービスセンター受付に返却する。

2025/03/01 作成